



福祉だより

社会福祉法人 流山市社会福祉協議会



今日もがんばるぞ！（中山農園にて、小松菜の出荷に向けた作業を行っています）

令和4年度から8年度までの地域福祉の活動指針となる「第3次流山市地域福祉活動計画」が今春からスタートしました。

流山市の「第4期流山市地域福祉計画」と車の両輪のように対をなすもので、毎年振り返り返りによる評価や計画の見直しなどが続けられます。

計画策定にあたっては、地域懇談会の開催や事前アンケートなどを経て、専門家や各

団体、行政などの代表で組織された計画の策定委員の皆さんが、内容が検討され、同計画には、第2次計画の評価や課題、これから活動の方針などが記されています。

第2次計画に引き続き、「誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を基本理念とし、「住民への地域福祉活動の啓発」、「地域福祉活動への参加促進と支援」、「ネット

新たな5カ年計画が始動 第3次地域福祉活動計画を策定

営している就労継続支援B型事業所「流山こまぎ園」では、流山市及び近隣市に在住の障害をお持ちの方が通所して、就労に必要な能力を育てるた

平成20年のこまぎ園設立当初より、主な作業として大手スーパーの買い物物がご洗浄作業を行っていますが、新たな作業として、昨年11月より、

利用して、流山市内の「中山農園」様で農業作業（小松葉の出荷補助作業）にチャレンジしていました。

、志、、、。本試卷分三部分：一、書面

農福連携とは、障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持つて社会参画を実現していく取組みです。地域の方々と手を携えて持ちの方への理解が広がり、社会を目指してまいります。

連携の新たな作業が始まりました 地域と連携して障害者支援

ことでもうちに来ている農業技術実習生の方々が障害のある方について理解を深められる機会になるのではないか。そして、地域の一役になれば」と、作業の委託をされたとのことです。



4月19日 誓約(由山友和氏と星川辰長)

第3次地域福祉活動計
画の表紙。
全編はホームページで
ご覧いただけます。■



◆東深井の森の図書館で成年後見制度の講座を開催してくださいました。成年後見推進センター職員が講師として登壇しました。

「ワーク化の推進」、「地域福祉活動の強化」の4つの基本目標のもと、広報啓発、福祉教育の推進、地域福祉の担い手養成、ボランティア活動の推進、地域福祉活動団体との連携及び活動支援、市や市民団体との連携、地域力向上のためのネットワーク構築と合わせ、地域における生活支援や相談業務の充実、高齢者・障害者・子育て世帯への支援などを推進します。



計画の内容を話し合う策定委員の皆さん

ご協力ありがとうございましたの共同募金

赤い羽根と歳末たすけあいの共同募金

本紙第192号で赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただいた方々をご紹介させていただきました。

同号発行後にも引き続きお力添えをいただき、令和3年度赤い羽根共同募金は、九百七十六千三百五十七円に、また、歳末たすけあい募金は、三百六十六万一千三百二十一円となりました。

前号発行後にご協力いただき、皆さんは次のとおりです

(敬称略・順不同) 戸別募金(赤い羽根・歳末)

【掲載漏れのお詫び】

前号に掲載した団体名に掲載漏れがありました。

【木長寿会】

以上、お詫びいたします。

法人・商店募金(赤い羽根)
西山動物病院
個人・団体等寄付(赤い羽根)
木長寿会、見楽会



「おはなしの花束」代表山田氏

南部高齢者なんでも相談室は、家に籠りがちな一人暮らしの高齢者などに、少しでも地域の方々と触れ合って、お元気に過ごしていただけます。南流山地域の図書館移設に伴い、南流山センターの空きスペースで、多世代の交流を目的としたさまざまな企画が「わたしの居場所」の名で行

ながれやま福祉だより
本紙第192号で赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただいた方々をご紹介させていただきました。

同号発行後にも引き続きお力添えをいただき、令和3年度赤い羽根共同募金は、九百七十六千三百五十七円に、また、歳末たすけあい募金は、三百六十六万一千三百二十一円となりました。

南流山センターで多世代型の交流 高齢者なんでも相談室が拠点つくりに参加

成年後見・遺言・相続

毎月一回無料個別相談会を開催いたしました

今年度も成年後見・遺言・相続無料個別相談会を開催しています。様々なお悩みに、制度や法律の知識が豊富な相談員がご相談をお聞きします。

昨年度はご自身の老後の心配や、認知症、障害のあるご家族の将来を心配されてのご相談が多くありました。

おひとりで悩まずに一度相談会にいらしてください。

解決のための手段として、

お子さんは目を輝かせ、大人

の方は忙しい日常を忘れ、ひ

がきました。終了後、おは

なしの花束の方々と参加者と

でお勧めの絵本を手に取る時

間が設けられました。代表の

山田氏より、大人の方にも絵

栄養をつけていただきたいと

のお言葉をいただきました。

岡南部高齢者なんでも相談室

04-7159-9981

「おはなしの花束」代表山田氏

04-7159-9981

</

